

河川生態学術研究会 多摩川研究グループ 第 1 回研究発表会

River Ecology Research Group Tama River Ecology Research Group Presentation



開催日時:平成 23 年 1 月 20 日 (木) 13:00~17:25

開催場所:福生市民会館小ホール (つつじホール)

★無料★

◆お問い合わせ先:財団法人リバーフロント整備センター 内藤・小川(豪)・吉村 03-6228-3860

河川生態学術研究会 多摩川研究グループ

第 1 回発表会 プログラム (案)

- I. 開会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:00-13:00
- II. 挨拶、主旨説明及び多摩川研究グループの概要説明・・・・・・・・13:00-13:15
星野 義延（多摩川研究グループ代表、東京農工大学農学部地域生態システム学科准教授）
- III. 今までの多摩川研究グループの成果・・・・・・・・13:15-14:05
- 3-1 ハリエンジュの林を礫河原にー永田地区での研究から始まった自然再生の取り組みー
星野 義延（多摩川研究グループ代表、東京農工大学農学部地域生態システム学科准教授）
- 3-2 土砂の連続性を考慮した礫河原環境復元のための対策
福島 雅紀（独立行政法人土木研究所水工研究グループ河川・ダム水理チーム主任研究員）
- 3-3 都市排水が河川環境に与える影響についてー多摩川における水質の現状と今後の課題ー
村山 康樹（独立行政法人土木研究所水環境研究グループ（水質）研究員）
- 3-4 水質の変化は多摩川の生物相をどのように変えるか？ー下水処理水流入の影響ー
加賀谷 隆（東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻助教）
- ~~~~~ 休憩（15分）~~~~~ 14:05-14:20
- IV. 多摩川研究グループの研究計画と研究成果・・・・・・・・14:20-15:35
- 4-1 河川の樹林化をどう抑制するか？
畠瀬 頼子ほか（財団法人自然環境研究センター上席研究員）
- 4-2 河辺植生固有種のメタ個体群の動態は復元できるか？
倉本 宣（明治大学農学部農学科教授）
- 4-3 河畔域の植生変化が動物や生態系に及ぼす影響を解明する
加賀谷 隆（東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻助教）
- 4-4 人工構造物が土砂動態及び河川構造に及ぼす影響とそれに対する生物の応答
知花 武佳（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻准教授）
- 4-5 多摩川の生態系とその恵み
高橋 俊守（宇都宮大学農学部農業環境工学科准教授）
- ~~~~~ 休憩（15分）~~~~~ 15:35-15:50
- V. 話題提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:50-16:20
- ⑤-1 市民からの話題提供「利活用の面からみた多摩川の空間」
山道 省三（西暦 2010 年の多摩川を記録する会）
- ⑤-2 学生からの話題提供「河床材料・河川地形の観察を通して捉える多摩川的环境」
斉藤 思温（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻）
- VI. ディスカッション・・・・・・・・・・・・・・・・16:20-17:20
「多摩川をよりよくするためには何をしたらよいか（仮題）」
コーディネーター：星野 義延
パネリスト：畠瀬 頼子、倉本 宣、加賀谷 隆、知花 武佳、山道 省三、斉藤 思温、元永 秀（国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長）
- VII. 閉会にあたり～河川管理者の立場から～（仮題）・・・・・・・・17:20-17:25
元永 秀（国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長）
- VIII. 閉会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17:25-17:25

※司会：リバーフロント整備センター

<申込方法>

- ◆出席者ご芳名：_____
- ◆ご所属・ご役職：_____
- ◆ご連絡先（いずれか）：メールアドレス _____ TEL _____ FAX _____
- 上記ご記入の上、下記アドレスもしくは TEL/FAX にてお申し込みください。
- 申込先：財団法人リバーフロント整備センター 内藤・小川（豪）・吉村
email: ogawa-g@rfc.or.jp TEL: 03-6228-3860 FAX: 03-3523-0640